

ほーほーどり

我孫子野鳥を守る会

No. 238

2014年

5～6月号

行 事 案 内

Enjoy 手賀沼！ 第 25 回バードウィーク手賀沼探鳥会 (5月手賀沼探鳥会とカウント)

バードウィーク(5/10~5/16)期間中に実施されるイベント Enjoy 手賀沼！の一環として探鳥会を行います。我孫子市鳥の博物館と当会が共催し、山階鳥類研究所が後援します。探鳥会には50名前後の市民の参加が見込まれ、見つけた鳥の説明をします。会員多数のお手伝いをお願い致します。

期 日 5月11日(日) 雨天の場合は鳥の博物館見学会(入場無料)に変更

集 合 手賀沼親水広場 午前8時30分
担 当 全幹事(事務局:野口隆也)

案 内 6班に分かれて、ふれあい道路を東進。高野山新田の信号の先で右折、遊歩道へ入り、滝下広場から遊歩道を戻るコースです。鳥合わせは班ごとに鳥の博物館で行います。

5月の定例探鳥会はこのバードウィーク手賀沼探鳥会に代えます。

雨天の判断は7時30分以降「鳥博」04-7185-2212まで。

6月手賀沼探鳥会とカウント

期 日 6月8日(日) 雨天中止
集 合 我孫子市役所 午前9時
案 内 沼に鳥は少ないかもしれませんが、代わりにオオヨシキリ、セッカなどの夏鳥がさえずっていることでしょう。サギの夏顔を注意して見ましょう。アマサギがいるとよいですね。2年連続して見られているタマガシギは、今年はどうでしょうか？

解 散 正午頃
担 当 松田

5月、6月ピオトープ調査

期 日 5月1日(木) 雨天延期
6月5日(木) 雨天延期
集 合 手賀沼ピオトープ 午前9時30分
案 内 5~6月、冬鳥が去り、夏鳥がみられる季節です。昨年の野鳥は5月コムドリを含め20種、6月オオヨシキリを含め14種観察出来ました。5~6月は木、野草の花が多種咲き始めます。5月は蝶が花の蜜を求めて多種飛び、蛾、甲虫、蛙も見られるようになります。6月はその他に蜻蛉も飛び始め、ノウサギが見られたこともあります。5~6月は野鳥、蝶、蜻蛉、足元の野草の花、木

の花等を見ながら初夏の探鳥をしましょう。
参加希望の方は下記までご連絡下さい。

解散 午前 11 時 30 分
担当 鈴木静治

筑波山探鳥会 (再掲)

期日 5月3日(土・祭日) 雨天中止
集合 我孫子駅北口 午前7時
案内 毎年、恒例と言っていいほどの行事です。筑波山は低いながら百名山の一つで、生き物も垂直分布に合わせ、多様性に富んでおり夏鳥もかなり観察されます。

キビタキ、オオルリ、センダイムシクイ、コルリ、ツツドリ、コマドリなど観察されます。

春の野草も多く見られます。どんな野草か、実際に見てください。

筑波山の裏側から登ります。登りはほんの少しきついけど！

今では筑波山は有名山です。混雑も予想されますが、ゆったりと探鳥を楽しみましょう。

交通 自家用車分乗です。同乗者は一人1,500円を運転者にお渡し下さい。申し込みの際、自家用車を提供可能な方はその旨ご連絡ください。

持物 観察用具、雨具、昼食(途中購入可)
申込 染谷迪夫まで

担当 鈴木、染谷

松之山温泉探鳥会

期日 6月1日(日)~2日(月)
集合 我孫子駅北口 ふれあい広場前
午前7時30分
案内 会として初めて、棚田、三大薬湯&

冬の婿投げで有名な松之山温泉(新潟県十日町市)を訪ねます。ここは又探鳥地としても知られ、ブッポウソウ、ノジコ、サンショウクイや、関東周辺ではここだけ？しか見られないチゴモズもここ数年見られています。運が良ければアカショウビンとの出会いや、猛禽類にも期待が大です。

宿泊は温泉と食事自慢の宿を用意致しました。是非ご参加下さい。

交通 小型バス(進和観光)
宿泊 松之山温泉、野本旅館
〒942-1432 新潟県十日町市松之山湯本 56

費用 23,000円程度
人数 20名まで
申込 金子雅幸まで

申込期限 5月15日
担当 松田、金子(雅)

笹川・印旛沼探鳥会

期日 6月15日(日) 雨天中止
集合 我孫子駅北口 午前8時
案内 笹川周辺ではヨシ原の中のセッカ、オオセッカ、オオヨシキリ、コヨシキリ、コジュリン等を間近で観察できます。印旛沼ではヨシゴイやお目当てのサンカノゴイに期待します。

持物 観察用具、雨具、弁当・飲物(途中のコンビニでも購入可)
交通 自家用車に分乗です。同乗者は一人1,500円を運転者にお渡し下さい。なお申込の際、自家用車を提供可能な方はその旨ご連絡下さい。

申込 野口隆也まで

担当 鈴木、野口(隆)

第六回「野鳥サロン」のご案内

5月役員会案内

日時 5月11日(日) 13:00~15:30
 場所 我孫子北近隣センター「並木本館」会議室3
 議題 26年度下期行事計画について
 会報239号掲載予定記事について
 26年度役員の事業分担について
 第七回「野鳥サロン」について
 報告事項
 ・関係団体関連報告
 ・第五回「野鳥サロン」
 その他(議題のある場合は野口隆也までご連絡ください。)

第六回野鳥サロンを下記のように開催します。

日本最古の歌集「万葉集」に詠まれている鳥を話題とします。また、当時すでに詠まれていたミサゴの行動を映像で紹介します。

みなさまの参加をお待ちいたします。

日時 5月27日(火) 10:00~11:30
 場所 我孫子北近隣センター 並木本館 第2・第3会議室

Tel: 04-7157-4517 (我孫子駅北口より徒歩7分)

テーマ 1. 万葉集の鳥
 2. 手賀沼のミサゴ

会費 一人300円(茶菓代ほか)

担当 畠中暁美、船津登、松下勝子、松田幸保

締切日 5月22日(木)

申込 船津登まで

行事報告

2月手賀沼探鳥会

調査日時 2014.2.9 積雪のため中止
 2月の定例探鳥会は前日からの大雪(30cm以上の積雪)の為、車は勿論歩くことも困難な状況で集合場所の市役所まで行くことができません。ましてや探鳥予定場所にも行くことができないと思い、やむなく中止と致しました。(9時に市役所に来られた方がおられたらお詫び申し上げます)
 因みに7日の金曜日に下見に行きましたが、水鳥はカムリカイツブリ、コガモ、オナガガモ、ミコアイサ等はいましたが、数は少なく手賀沼は寂しいかぎりでした。

(担当)北原建郎

<カウント班> 染谷迪夫、木村稔、田中功

調査日時 2014.2.11 9:10~12:08

曇りのち晴 北西微風 3

調査種	上沼	下沼	合計
カイツブリ	9	2	11
カムリカイツブリ	7	10	17
カウ	7	84	91
アサギ	8	0	8
コバクチョウ	5	3	8
コバクチョウ	0	4	4
マガモ	0	272	272
カガモ	109	40	149
コガモ	73	102	175
オヨシガモ	36	1	37
ヒドリガモ	18	148	166
オカガモ	0	232	232
ミアイ	0	2	2
バン	5	0	5
オバン	17	25	42

コリカモ	7	4	11
タゲリ	0	1	1
イソギ	0	1	1
コリカモ	1	0	1
セグロカモ	2	2	4
合計	296	928	1,224

<ピオトープ班> 鈴木静治、間野吉幸、池田日出男、蒲田知子、船津登
 調査日時 2014.2.6 9:30~11:20
 晴れ 弱風 6~7

沼の奥に柏のビル群が見え、弱い風で沼水面やや波立つ。沼の水鳥は少ない。斜面林は冬景色。2/4降雪の雪が日陰に残り、空気は冷たい。ピオトープの水の流れの無い池は結氷し水鳥は見られない。ピオトープの草の繁み・木に多くの小鳥が、田にも小鳥が見られた。ハシボソガラスがノスリに絡む、赤く光沢のあるものを啜え飛ぶ、ペットボトルを転がし遊ぶ様子を観察できた。観察した野鳥 24種 109羽。また、モグラの盛り土多く、少なくなった木の花1、実4、芽2、花芽2、野草の花2、花穂つき実4種見ることが出来ました。

<認めた鳥> カイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、カルガモ、コガモ、ノスリ、オオバン、キジバト、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ツグミ、ウグイス、セッカ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス 計24種

3月手賀沼探鳥会

調査日時 2014.3.9 9:00~11:50
 曇り 微風 7

3月になりましたが、寒さが気になる日です。北千葉導水センターからヒドリ橋までの葦原には、多くのオオジュリンが見られました。また、途中の木には、赤いベニマシコの雄2羽が木の芽を食べており、じっくり見ることができラッキーでした。ヒドリ橋では、夏羽のカムリカイツブリが近くで見られ、また、ミサゴ、カワセミ、

上空を飛ぶコハクチョウなどが認められました。手賀沼の下沼では、近くの杭にミサゴが止まっており、遠くにはミコアイサが認められました。カモ類は、約50羽のマガモの群が見られましたが、全体的に少なく感じられました。

<認めた鳥> カイツブリ、カムリカイツブリ、カワウ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、コブハクチョウ、コハクチョウ、マガモ、カルガモ、コガモ、ヒドリガモ、オナガガモ、ミコアイサ、ミサゴ、トビ、ノスリ、キジ、バン、オオバン、コリカモメ、セグロカモメ、キジバト、カワセミ、ハクセキレイ、ヒヨドリ、モズ、ツグミ、ウグイス、エナガ、シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、ベニマシコ、スズメ、ムクドリ、ハシボソガラス、ハシボトガラス
 計41種 番外 カワラバト

<探鳥班> 浅野利幸、桑森亮、柴本法子、武藤康之、肥後邦彦、村松寿夫、西嶋昭生、松下勝子、相良直己、谷山晴男、松田幸保、田丸喜昭、畠中暁美、間野吉幸、類地佑子、村瀬和則、金子幸子、野倉元雄、渡辺俊文、千葉洋、常盤孝義、荒井みどり、榎本右、小坂忠久、砂原成治、北崎正典、石渡成紀、野口紀子、小澤淳宏、佐藤弘美、六角昭男、古出洋子、百瀬喬、野口隆也、鈴木静治、藤川敏彦(担当) 船津登 計37名

<カウント班> 木村稔、染谷迪夫、小玉文夫
 調査日時 2014.3.9 9:10~11:55
 曇りのち晴 北西弱風 5

調査種	上沼	下沼	合計
カイツブリ	8	2	10
カムリカイツブリ	5	9	14
カウ	15	25	40
ダイサギ	3	3	6
コサギ	0	2	2
アサギ	1	1	2
コブハクチョウ	11	2	13
マガモ	0	169	169
カルガモ	45	20	65

コガモ	70	56	126
オオソシガモ	28	0	28
オオカガモ	0	6	6
ホシヅロ	0	1	1
ミヨアイ	0	3	3
バン	1	0	1
オオバン	7	36	43
タゲリ	0	1	1
イソギ	0	1	1
ヨリカモ	24	8	32
セグロカモ	0	2	2
合計	218	347	565

<ピオトープ班>鈴木静治、間野吉幸、池田日出男、船津登

調査日時 2014.3.6 9:30~11:00

快晴 強風 6~10

快晴なるも風強く寒い。遠くに白き富士山。沼白波立つ。波の少ない岸近くにカルガモの大きな群れ、池にはコガモの群れあり。ピオトープの枯草の繁みをアオジ、アカハラ、シロハラ、モズ、キジ等動くのが見られた。ハシボソガラス、トビの飛翔も見られた。観察した野鳥は強風のため少なく19種、152羽。また、モグラの盛土、木の花1、花芽2、草の花3、葉芽4種見ることが出来ました。木の実・草の実は殆ど野鳥に食べられ残っていない状態でした。

<認めた鳥>カワウ、アオサギ、カルガモ、コガモ、トビ、キジ、バン、オオバン、キジバト、カワセミ、モズ、アカハラ、シロハラ、ツグミ、ホオジロ、アオジ、カワラヒワ、スズメ、ハシボソガラス 計19種

渡良瀬遊水地探鳥会

2月16日

現地事務所に問い合わせましたところ、20~30cmの積雪に雨を含んで凍結の箇所が出ていたとのことで残念ながら中止とさせて頂きました。

(担当:石渡成紀、野口隆也)

銚子カモメ探鳥会

3月2日

天気予報が雨模様(降水確率80%)のため、残念ながら中止致しました。

自家用車5台の陣容、カモメ識別ポイントの資料、下見(2/23)での成果など期待しておりましたが見送りとなりました。

(担当:桑森亮)

3月役員会報告

日時 3月9日(日) 13:30~16:30

場所 水の館 3階研修室

1. 4月の定期総会資料について

1) 26年度定期総会次第

資料に基づき説明、異議なく了承。

2) 25年度事業報告(案)

資料に基づき説明、質疑を経て、一部の追記で大綱了承。

3) 26年度事業計画(案)

資料に基づき説明、質疑を経て、次の追記で大綱了承。

・定例手賀沼探鳥会の7-9月はサマータイム制を導入して集合は午前8時。

4) 25年度決算・26年度予算案及び貸借対照表

資料に沿って説明、審議を経て、原案通り異議なく了承。

2. 会報238号掲載予定記事について

資料に沿って提案し、未定箇所を確認後、了承。

・新入会員オリエンテーションは6月29日(日)10時~12時水の館にて実施。

・会報のリニューアルについて編集委員会検討し、役員会に提案予定。

3. 新しい事業について

1) 鳥類目録変更に伴う「野鳥チェックリスト」の変更

資料に沿って提案、手賀沼定例会用、遠出探鳥会用、全種類リストの3種類を新チェックリストとして活用する。

・会報238号で告知する。

- ・ab-yacho に新チェックリスト 3 種類を添付して周知する。

2) デジタル野鳥図鑑作成

- ・検討メンバーは役員と一般会員で 10 名程度を公募、ab-yacho と定例会で告知する。
- ・5,6 月頃からスタートし、2,3 年かけて完成をめざす。

3) メーリングリストの移行と有効活用資料に沿って提案、質疑を経て、提案通り了承。

- ・ホームページで利用しているさくらネットワークを活用する。
- ・詳細は別途会員に案内する。
- ・現在参加者が少ないため、今後アイデアを出し登録を促進する。

4) 会活動全般についてのアンケート実施

資料に沿って提案、異議なく了承。

5) 対外啓発活動のステップアップ

資料に沿って提案、異議なく了承。

6) 過去の活動データ整理と今後の活用策資料に沿って提案、異議なく了承。

4. 「第 6 回野鳥サロン」について

資料に沿って提案、異議なく了承。

- ・「手賀沼のミサゴ」はビデオでプレゼンする予定。

5. 報告事項

資料に沿って次の事項を報告し、了承。

- あびこ市民活動ステーション情報 NPO 法人こんぶくろ池自然の森 美手連関係
- 千葉日報取材対応
- 亀成川を愛する会への探鳥指導
- 手賀沼水環境保全協議会
- 四小元気会の講演

6. その他

- ・北原氏の幹事退任、北崎氏の幹事就任が了承。
- ・今後の役員会は開催を 13 時から、7 - 9 月はサマータイム制で 12 時 30 分から。
- ・我孫子市民フェスタは 2014 年の開催を見送ることに。2015 年以降は未定。

亀成川を愛する会への探鳥指導

2 月 2 日、亀成川を愛する会恒例行事の亀成川流域里山散策シリーズ「第 8 回 冬鳥を探そう」に今年も当会から 7 名の会員が探鳥指導として参加しました。

対象地域は、大規模開発による造成地化が年々進捗し、一昨年までオシドリ、ヨシガモなどで賑わっていた別所調整池も周辺林が疎らになっており、オシドリが数羽見え隠れしているのをやっと観察できるほどに変わっていました。途中から冷たい雨になりましたが、スタッフの上手な誘導もあり、キンクロハジロ、オカヨシガモなど合計 29 種観察しました。

(松本：記)

大堀川源流「こんぶくろ池」・ 野田市「コウノトリの里」見学会

2 月 14 日、手賀沼流域フォーラム実行委員会主催の見学会に当会会員 14 名が参加しました。

最初に訪ねたのは、手賀沼に注ぐ大堀川の源流になっている湧水池「こんぶくろ池」。

前日の大雪が少し弱まりながらもまだ降り止やまない天候でしたが、却って静かで、雪化粧した自然公園然とした木道を散策できました。

東大柏キャンパスの学食で昼食後、「コウノトリの里」へ向かい、約 30 分で到着。株式会社野田自然共生ファームの係員から施設の概要の説明そこそこに飼育観察棟ケージ内のコウノトリに対面、繁殖時期のため、人工営巣台には既に営巣が進んでいる様子、昨年生まれた幼鳥 2 羽は別居飼育されていた。ちなみに は 9 歳、 は 19 歳とのこと。連続しての繁殖を大いに期待したい。

隣接する水田型市民農園は冬期灌水、不耕起田んぼで、畔にはコハクチョウが 2 羽ゆっくりとした田園風景を呈してくれました。

(松本：記)

鳥 だ よ り

- 1.21 [北新田] フョウゲンボウ (1) 電柱から飛去 中野久夫
- 1.21 [片山(手賀の丘公園)] ノシリ (1) 船津登
- 1.22 [北新田] ノシリ (1) 電柱から飛去 中野久夫
- 1.24 [北新田] ハヤフサ (1) 電柱上 中野久夫
- 1.24 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガラ (1) 船津登
- 1.24 [片山(手賀の丘公園)] ノシリ (1) 船津登
- 1.25 [北新田] フョウゲンボウ (2) 電柱から飛去 中野久夫
- 1.26 [酒井根 6 丁目下田の森] 材カ (1) 10:33、北側の林から出現し、南側の林の中に入っていった 飯泉仁
- 1.26 [北新田] ノシリ (1) 電柱から飛去 中野久夫
- 1.26 [北新田] フョウゲンボウ (1) 電柱から飛去 中野久夫
- 1.27 [大井新田先手賀沼] ヒ (1) 11:31、上空を旋回 飯泉仁・飯泉久美子
- 1.27 [大井新田先手賀沼] アライ (1) 11:43、遊歩道下の葦原に出現 飯泉仁・飯泉久美子
- 1.27 [片山新田先手賀沼] ヒ (1) 13:35、上空を旋回 飯泉仁・飯泉久美子
- 1.27 [片山新田先手賀沼] ハイカ (1) 13:58、上空を旋回 飯泉仁・飯泉久美子
- 1.27 [片山(手賀の丘公園)] トビ (1) 船津登
- 1.27 [片山(手賀の丘公園)] ノシリ (1) 船津登
- 1.27 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガラ (6) 船津登
- 1.28 [江蔵地] ノシリ (1) 堤防上の標識にとまる 鈴木静治
- 1.28 [江蔵地] ヘニマシコ (1) セイカワヅチの実を啄む 鈴木静治
- 1.28 [江蔵地] ヘニマシコ (1) 草藪の中で鳴きながらイコヅチの実を啄む 鈴木静治
- 1.29 [江蔵地] ヘニマシコ (1) 草の茂みで鳴く 鈴木静治
- 1.29 [江蔵地] ヘニマシコ (5) 木に群れでとまる 鈴木静治
- 1.29 [北新田] クサシ (3) 4号排水路で 中野久夫
- 1.29 [北新田] フョウゲンボウ (1) 電柱から飛去 中野久夫
- 2.01 [布佐平和台] ミヅ (1) 大木の茂みで囀る(初鳴き) 鈴木静治
- 2.02 [別所] オトリ (3) 池の木陰で動く 鈴木静治・間野吉幸・松本勝英
・野口隆也・相良直己・木村稔
- 2.03 [片山(手賀の丘公園)] ノシリ (1) 船津登
- 2.03 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガラ (5) 船津登
- 2.05 [高野山新田] ヒクケ (1) ヨシ原枯藪で採餌 安野昌彦
- 2.05 [高野山新田] ヒクケ (1) 手賀沼の芦原で採餌 渡邊俊文
- 2.06 [下沼田] ノシリ (1) 電柱より飛び立つ 鈴木静治
- 2.06 [下沼田] ヒ (1) 低空で飛ぶ 鈴木静治
- 2.06 [岡発戸新田] ノシリ (2) ハシロガエに絡まれる 鈴木静治・間野吉幸
・池田日出夫・蒲田知子・船津登
- 2.06 [北新田] ノシリ (1) 飛翔 中野久夫
- 2.06 [高野山新田] ヒクケ (2) ヨシ原枯藪に潜む 安野昌彦
- 2.07 [大森] ヒ (2) 上空高く飛ぶ 鈴木静治
- 2.07 [高野山新田] ヒクケ (1) 手賀沼沿いの枯れて見通しの良い抽水植物群の上や下を歩き回って採餌 田中功
- 2.10 [浅間前] ノシリ (1) 雪原上を滑空し電柱上にとまる 鈴木静治
- 2.11 [手賀沼] ミカ (1) 手賀沼公園地先 染谷迪夫・木村稔・田中功
- 2.11 [手賀沼辺] ヒ (3) 上沼 1, 下沼 2 染谷迪夫・木村稔・田中功
- 2.11 [手賀沼辺] ノシリ (1) 上沼 1 染谷迪夫・木村稔・田中功
- 2.11 [手賀沼辺] ハヤフサ (1) 上沼 1 染谷迪夫・木村稔・田中功

- 2.12 [下沼田] ノリ (1) 雪の田の杭にとまる 鈴木静治
- 2.12 [下沼田] ノリ (1) 上空でハソノガラス 2羽に絡まれる 鈴木静治
- 2.13 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガラ (1) 船津登
- 2.13 [高野山新田] ヒクケ (2) 手賀沼の芦原で採餌 渡邊俊文
- 2.15 [江蔵地] ヒ (2) 雪解けの田の上を飛ぶ 鈴木静治
- 2.17 [高野山] ヒ (1) 飛翔 平岡考
- 2.17 [大津川中の橋上流] ノリ (1) 上空でカラスと争う 安野昌彦
- 2.18 [北新田] オカカ (1) 越流堤横柳上 中野久夫
- 2.18 [片山(手賀の丘公園)] オカカ (1) 船津登
- 2.18 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガラ (4) 船津登
- 2.23 [大津川権現橋上流] ハクカ? (1) 上空を飛ぶ 安野昌彦
- 2.23 [大井新田先手賀沼] ミカコ (1) 13:24、上空を旋回 飯泉仁・飯泉久美子
- 2.23 [片山新田先手賀沼] ミカコ (1) 14:43、水面の杭に止まっていた 飯泉仁・飯泉久美子
- 2.23 [箕輪新田先手賀沼] フルカ (1) 13:49、我孫子市側の遊歩道近くの葦原で休んでいた 飯泉仁・飯泉久美子
- 2.23 [鷲野谷新田] ノリ (3) 14:00、道路脇の電柱に止まり、周囲を警戒 飯泉仁・飯泉久美子
- 2.24 [片山(手賀の丘公園)] オカカ (1) 枯れ木に止まる 船津登
- 2.24 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガラ (1) 船津登
- 2.24 [鷲野谷新田] ノリ (1) 電柱に止まる 船津登
- 2.25 [大津川権現橋上流] フウゲノボリ (1) 林から飛び出す 安野昌彦
- 2.26 [大津川権現橋上流] ハニシコ (1) 川原の木の枝に止まる 安野昌彦
- 3.01 [北新田] ウケイ (1) 越流堤横原で囀り(初音) 中野久夫
- 3.02 [酒井根 6 丁目下田の森] ヤマガラ (1) 10:54、林縁を移動 飯泉仁
- 3.03 [下沼田] ヒ (2) 上空高く飛ぶ 鈴木静治
- 3.03 [千間橋] ノリ (1) 田の畔の杭にとまる 鈴木静治
- 3.03 [浅間前] フウゲノボリ (1) 田の上空を飛ぶ 鈴木静治
- 3.03 [片山(手賀の丘公園)] オカカ (1) 囀りと鳴き声の後上空を飛ぶ 船津登
- 3.03 [片山(手賀の丘公園)] ノリ (1) 電柱に止まる 船津登
- 3.06 [都部新田] ノリ (1) ハソノガラス 2羽に追われ、林に逃げる 鈴木静治
- 3.06 [岡発戸新田] ヒ (1) 低空で飛ぶ 鈴木静治・間野吉幸
・池田日出男・船津登
- 3.09 [手賀沼] ミカコ (1) 上沼 1 染谷迪夫・小玉文夫・木村稔
- 3.09 [手賀沼辺] ヒ (2) 上沼 1, 下沼 1 染谷迪夫・小玉文夫・木村稔
- 3.11 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガラ (5) 船津登
- 3.12 [江蔵地] ハニシコ (2) 柳の花芽の枝にとまる 鈴木静治
- 3.12 [江蔵地] ヒ (1) 上空高く飛び旋回する 鈴木静治
- 3.12 [江蔵地] ハニシコ (3) 柳の花芽を食べ続ける 鈴木静治
- 3.12 [江蔵地] ハニシコ (3) 葦原で鳴く 鈴木静治
- 3.12 [江蔵地] ノリ (1) 川岸の木にとまる 鈴木静治
- 3.12 [江蔵地] ウケイ (3) 葦原の繁みで囀る 初鳴き(初認) 鈴木静治
- 3.12 [布佐平和台] ツバメ (1) 上空を飛ぶ(初認) 鈴木静治
- 3.12 [布佐平和台] フウ (1) 森より 2 度 鳴き声(初認) 鈴木静治
- 3.12 [北新田] オカカ (1) 越流堤横柳上 中野久夫
- 3.15 [北新田] フルカ (1) 飛翔 中野久夫
- 3.15 [北新田] ノリ (1) 飛翔 中野久夫
- 3.15 [北新田] フウゲノボリ (1) ハニシコ 中野久夫
- 3.17 [北新田] クサビ (1) 4 号排水路で 中野久夫
- 3.17 [片山(手賀の丘公園)] オカカ (1) 囀りと鳴き声が 2 回聞こえた 船津登

- 3.17 [片山(手賀の丘公園)] ノスリ (1) 電柱に止まる 船津登
- 3.17 [片山(手賀の丘公園)] ノスリ (1) 上空を飛ぶ 船津登
- 3.17 [片山(手賀の丘公園)] ヤマガラ (2) 船津登
- 3.17 [鷺野谷新田] ノスリ (1) 電柱に止まる 船津登
- 3.18 [北新田] ノスリ (1) 電柱から飛去 中野久夫
- 3.18 [北新田] クサシギ (2) 4号排水路で 中野久夫
- 3.19 [高野山] ウグイス (1) 囀り2回。山階鳥研裏の道沿いの藪から聞こえた 田中功
- 3.19 [中峠(利根川ゆうゆう公園)] ウグイス (1) 利根川ゆうゆう公園の中で、ウグイスのさえずりを聞きました。私にとっての初鳴きでした 松田幸保
- 3.20 [北新田] クサシギ (1) 4号排水路で 中野久夫

ビロガモ、ハシブトガラス、ハシボソガラス、ハヤブサ、バン、ヒクイナ、ヒドリガモ、ヒバリ、ヒヨドリ、ピンズイ、フクロウ、ベニマシコ、ホオジロ、ホシハジロ、マガモ、ミコアイサ、ミサゴ、ミヤマガラス、ムクドリ、メジロ、モズ、ヤマガラ、ユリカモメ、ルリビタキ 計77種
<番外種>
カワラバト、コジュケイ、バリケン

今回の投稿者の総投稿件数

安野昌彦	99
飯泉仁	299
飯泉仁・飯泉久美子	185
飯泉久美子	1
鈴木静治	140
鈴木静治・間野吉幸・松本勝英 ・野口隆也・相良直己・木村稔	5
鈴木静治・間野吉幸・池田日出男 ・船津登	19
鈴木静治・間野吉幸・池田日出夫 ・蒲田知子・船津登	26
染谷迪夫・木村稔・田中功	33
染谷迪夫・小玉文夫・木村稔	33
田中功	2
中野久夫	62
平岡考	9
船津登	181
松田幸保	1
渡邊俊文	2
総計	1097

(浅井久)

今回寄せられた鳥の全種名

アオサギ、アオジ、アカハラ、アリスイ、イソシギ、ウグイス、エナガ、オオジュリン、オオタカ、オオバン、オカヨシガモ、オガワコマドリ、オシドリ、オナガ、オナガガモ、カイツブリ、カシラダカ、カルガモ、カワウ、カワセミ、カワラヒワ、カンムリカイツブリ、キジ、キジバト、キンクロハジロ、クサシギ、コガモ、コクマルガラス、コゲラ、コサギ、コブハクチョウ、シジュウカラ、シメ、ジョウビタキ、シロハラ、スズメ、セグロカモメ、セグロセキレイ、セッカ、ダイサギ、タゲリ、タシギ、タヒバリ、チュウヒ、チョウゲンボウ、ツグミ、ツバメ、ツミ、トビ、トラツグミ、ノスリ、ハイタカ、ハクセキレイ、ハシ

会員から寄せられた鳥情報

我孫子野鳥を守る会のメーリングリストに投稿された鳥情報です

【最近の利根川、手賀川の鳥情報】

鈴木静治 2014.03.28

3/27 夕方、下手賀川(発作)のコブハクチョウを見に行きましたが、冬70羽いましたが今は30羽程度に減りました。手賀川の所々に2羽づつ見られ、浅間橋からは巣作りがみられました。

またオオバンが 30~50 羽が群れになり堤防の草原で採食する様子が観察できます。私に気づくと川に避難し、私がいなくなると戻ってきます。なお川の中州近くで威嚇しあう 2~3 羽のオオバンも観察できます。

手賀沼周辺の田は田植え前の田起こし等の準備が進んでいるためかタカ類も冬に比べ トビ、チョウゲンボウが見られる位で少ないようです。一方 3/23 午前中 利根川(江蔵地~古戸先)河原へ、ベニマシコを見に行ったところ、ベニマシコ、ホオアカ、ホオジロの他に タカが 6 種(トビ、ハイロチュウヒ、ミサゴ、オオタカ、ハヤブサ、ノスリ)飛び出したのにはビックリしました。餌の少なくなった田より葦原のある河原に移ったのでしょうか。

ハシボソガラスも利根川岸(古戸)沿いの木や、浅間前の電柱に巣作りをしています。皆さんの近くにも巣作りをしている鳥が多いと思いますので、親鳥にストレスを与えない程度に観察してみてください。

松田幸保 2014.03.24

鈴木さんの情報を得て、先週ゆうゆう公園を訪れました。ベニマシコ♀がヤナギの花穂をつついてのを目撃しましたが、その後は会えませんでした。

似たような条件のところと思い、北柏ふるさと公園に行ったところ、ヤナギの花穂を食べるシーンをじっくり見ることができました。

冬場の粗食のイメージが焼きついているので、みるみる小さくなる花穂に驚きました。たっぷり 1 時間以上食べていましたので十分な栄養になったでしょう。

鳥便りです。ヒヨドリは中根さんもブログで紹介されていましたが、中根さんが紹介なさった 3 月初めはもうあらかた食べ尽くしたころだったと思います。

【ユリカモメ 夏羽の今年の初認】

相良直己 2014.03.25

当会メーリングリスト担当の相良です。新たなメーリングリストに移行したのを機会に、気軽に投稿頂き、活発なメーリングリストにしたいと思います。

ほぼ、週の大半は東京茅場町に出勤しています。

職場近くの日本橋川にかかる湊橋には、海に近い所為かカモメ類が多くみられます。

橋の欄干と平行にかかっている弓状の上水道橋の上には、冬季は毎朝 20~30 羽のユリカモメが見られ、水面にもユリカモメやセグロカモメが浮かんでいます。

今朝(3/25)、今年初めて、頭が黒くなった夏羽のユリカモメを見かけました。

この数週間手賀沼公園には出向いていませんが、手賀沼公園や水の館前等で既に夏羽のユリカモメを見られた方はいらっしゃいますか？

3 日前の土曜日に水元公園に行きましたが、水元公園では夏羽のユリカモメはまだ見られませんでした。

【高野山にフクロウが】

平岡考 2014.03.24

高野山ではフクロウの鳴き声も聞かれました。

【手賀沼遊歩道の鳥情報】

船津登 2014.03.22

本日(22日)午後 3 時頃、遊歩道で本年初めてツバメ 1 羽が、飛んでいるのを確認しました。また、木に止まっているコイカル、アリスイ各 1 羽を確認しました。

1. 谷津干潟の保存

私が初めて谷津干潟を訪れたのは10年前の2004.4.24会の探鳥会でした。干潟というけれども、森と高い建物に囲まれた長方形という不自然な形で、広い海の干潟と聞いていたので不思議な感じがしました。後で調べて判りましたが、干潟周辺は1970年代住宅団地として埋め立てられ、この谷津干潟は再生不能として、埋め立てられ住宅地になる予定でした。しかし、この干潟は利根川放水路計画により旧大蔵省の所有であったため埋め立てを免れ埋立地の中に2本の水路で海とつながる池のように残されたものです。その後、埋め立て計画が持ち上がりましたが、東京湾に飛来するシギチ、カモ類といった渡り鳥の希少な生息地であり、また数年前NHKで放映された「ヘド口の干潟をよみがえらせろ、たったひとりの反乱」の森田三郎さんが1974年から始めたごみ・廃棄物回収の努力、さらに保護活動に共鳴する市民運動の結果、1988年国指定谷津鳥獣保護区に指定され、1993年にはラムサール条約(特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約)に登録されました。さらに習志野市により日本野鳥の会が運営する谷津干潟自然観察センターが作られました。また干潟周囲3.5kmにわたり観察路が作られ、淡水池、公園も併設されていますので水鳥の他に林の鳥も楽しめます。余談ですが私の故郷の愛知県でも伊勢湾に面した藤前干潟が有名ですが、ここも1981年名古屋市のゴミ処分場が計画されましたが、市民運動が盛り上がり1999年に計画が中止になり、2002年に国指定鳥獣保護区に指定され、ラムサール条約に登録されたようです。

2. 谷津干潟での水鳥の観察

2004年以降2013年7月まで年に1回程度春か秋、シギチの渡りの時期に行くだけでした。たまに行くとシギチの数が多すぎて種名が判らず、家に帰ってから写真判定する有様でした。2013年8月に、谷津干潟にあまり行っていないのに気づき2013.8.9谷津干潟へ行ってみました。この時はメダイチドリ、ダイゼン、キアシシギ、キョウジョシギ、セイタカシギ、オオソリハシシギ等が観察できました。ここ数年我孫子市相島、印西市発作の水田で4~5月ムナグロ、キョウジョシギ、キアシシギ、チュウシャクシギ等のシギチを観察しています。2013.8.25会の茨城南探鳥会でムナグロ、トウネン、オオハシシギ、オグロシギ、セイタカシギ等12種のシギチを観察し、2013.9.10には稲敷市でトウネン、ツルシギ、オグロシギ、等5種が観察しました。これら春の我孫子、秋の茨城、秋の谷津干潟で共通して見られる種類もあることよりシギチの渡りに興味を持ち、谷津干潟観察センターのHPで(月曜日の休館日を除く)毎日の観察データおよび潮見表が見られること、センターの年間会員になっているので、月1~2回昼前後干潮時の日、生物棲息調査の無い日に行くことにしました。私の最寄り駅、布佐駅より谷津干潟の南船橋駅まで約1時間で着きますので、丁度よい所要時間です。8月より1月まで11回通いました。種により渡りの時期が異なり、8月まではキョウジョシギ、9月まではキアシシギ、アオアシシギ、オオソリハシシギ、10月まではメダイチドリ、オグロシギ、オバシギ、11月まではハジロコチドリ、コチドリ、12月まではハマシギ、ダイゼン、セイタカシギ、イソシギが見られました。これらは秋の渡りによるもので、少しずつ種類が変わっていきます。月1~2回行きますと今までいなかった種類を観察すれば良いので、余裕を持って観察出来ます。なお、ハマシギ、ダイゼン、セイタカシギ、イソシギは谷津干潟で越冬するようです。セイタカシギは繁殖している様子も観察出来ます。1~3月はシギチが少なくなりますが、4~5月は春の渡りの最盛期で相当多くの種類のシギチの渡りが見られると思いますので、この時期週1回位通うと面白いと思います。また、内陸の我孫子にシギチが4~5月が多く来ますので、海辺の谷津干潟と比較してみるも興味あるところです。なお、9月頃よりカモ類が見られるようになりシギチの少なくなる12月には、通年みら

れるサギ類とカモ類を身近に観察できます。これから半年間春の渡りのシギチを月に1~3回観察してみたいと思っています。興味ある方は一緒にじっくり探鳥しませんか。

3. シギチの標識調査(カラーフラッグ、足環)

シギチの観察をしていますと、セイタカシギの求愛のディスプレイ・フライト(2013.10.4)、アオサギの求愛ディスプレイ(2013.10.14)、オグロシギが二枚貝を長い嘴で捉えそのまま飲み込む様子(2013.10.17)、ヒドリガモ、オオバンがアオサを採食する様子(2013.11.9、12.16)等を観察することも出来ました。また谷津干潟でシギチの写真を写していると足に、写真家によってはこれを嫌う人もありますが、色の付いたカラーフラッグ(プラスチックの旗)を付けている事に気づくことがあります。カラーフラッグの付かない足には金属足環が付いています。金属足環には7~8桁の英数字が刻印されています。これらフラッグ、足環が写っていたら山階鳥類研究所・保全研究室・鳥類標識センターにデータを送りますと、通常写真には3~4桁の数字しか映りませんので、標識センターで数字を照合の上、その鳥の履歴の回答が送られてきます。足環の英数字を読むには反射しない撮影位置で露出補正しデジスコで写す必要があります。カラーフラッグはキアシシギ、セイタカシギ、足環番号はトウネン、ダイゼン、イソシギ、カワウが付けていました。トウネンは2013.9.24(標識調査を数十年続けておられる山階鳥類研究所の)茂田さんが谷津干潟で標識を付け、10日後に私が2013.10.4に写真に写しました。ダイゼンは2007.1.9茂田さんが標識を付け、2011年9月に確認されており、2013.11.19私が写したもので、6年以上生存していることとなります。セイタカシギは2013.9.24に谷津干潟で幼鳥にカラーフラッグを付け2013.11.19私が写したもので約2ヶ月後確認したことになります。4月20日に我孫子市相島で写したキアシシギのカラーフラッグは根室市春国岱で付けられたものだそうです。なお2012.5.26柏市手賀新田で写したカワウの足環は2010.2.22に行徳鳥獣保護区で取手市のバンダーにより巢内雛に標識後放鳥されたものでした。2年以上生存し、東京湾より来たこととなります。

標識調査は全国1年間で約17万羽に付けられているようですが、この情報により鳥の寿命、渡りのルート等がわかるようです。このうち回収されるのは非常に少なく0.6%程度です。シギチのカラーフラッグの組み合わせ・付ける位置は放鳥地により決まっていますので、アメリカ、ロシア、日本各地(北海道コムケ湖・風連湖、千葉県小櫃川・谷津干潟、熊本県荒尾海岸等)、モンゴル、韓国、中国、ベトナム、カンボジア、タイ、ミャンマー、シンガポール、フィリピン、インドネシア、オーストラリア、ニュージーランド等からの鳥も見つかるかもしれませんので、カラーフラッグ・足環を見つける楽しみもあります。本来は死体を回収し記録されるものですが、写真の場合は生きて途中経過を知ることが出来ますので貴重な中間データになると思います。なお、渡り鳥については、日米間、日露間には渡り鳥条約、日中間、日豪間には渡り鳥協定、日韓間には協力会合があり、2年に1度情報交換、共同調査協議されているとのことです。写真を写される方は鳥の足元をみて、カラーフラッグ、足環の有無を確認し、有ればその情報を日本のデータの一括管理を環境省より委託されている山階鳥類研究所にデータを送れば、渡り鳥の学術的研究、ひいては渡り鳥保全に貢献することになると思います(環境省・山階鳥類研究所の渡り鳥と足環の資料参照)ので、是非とも協力してあげてください。

なお、谷津干潟の四季、シギチの採食行動、シギチの威嚇行動、干潟の生き物については、「石川勉、東京湾の渡り鳥、晶文社、1993年」にやさしく書かれていますので、興味ある方はご一読下さい。この中に二枚貝に脚、嘴を挟まれたドジなシギチの話、蟹は足を取った上で飲み込む話等が紹介されています。

以上

会からのお知らせ

新入会員オリエンテーション開催のご案内

昨年度より開催された“新入会員オリエンテーション”を本年度も下記のように開催いたします。

当会の歴史・活動の詳細、探鳥の楽しみ方など、当会の全てを丸ごと知って頂ける良い機会です。

昨年度より入会されました新入会員の皆様を対象ですが、長年の会員の方の参加も歓迎します。

参加希望者は、下記申し込み先へ、期限までに申し込みください。

記

日時 6月29日(日) 10:00～12:00

会場 水の館 3階研修室

アジェンダ

プレリユード(開会15分前より) 野鳥スライド・ショー放映

開会 野口副会長

1) 歓迎の挨拶 間野会長

当会運営体制(組織、役員、事務局)紹介

2) 当会の紹介 オリエンテーション担当幹事 相良

当会の他では得られない特徴/楽しみ

当会の名人たち

当会の年間活動

これまでの探鳥地と出会った鳥たち

こんな時のコンタクト先

3) 先達に聴く 探鳥の楽しみとヒント オリエンテーション担当幹事 金子(雅)

探鳥を楽しむための心構えと準備 (探鳥会参加の準備、ルール、マナーなど)

鳥を素早く見つけるヒント (鳥の見つけ方、見分け方のヒント)

探鳥の楽しみ方 (探鳥、探鳥会参加の楽しみ方)

4) 今後の活動予定と参加の案内 野口副会長

5) 質疑応答&懇談 司会 野口副会長

閉会 古出副会長

申込み 申込み先 オリエンテーション担当幹事 野口(紀)

電話: 04-7182-7232 (お電話での連絡は14:00以降にお願いします。)

メール: ab-yacho-office@abikoyacho.sakura.ne.jp

期限: 6月20日(金)

その他: 参加者には、当会の活動をあまねく紹介する当会特製DVDを進呈いたします。

新入会員の皆様へ

新入会員の皆様には、担当幹事の野口(紀)より別途案内をさせていただきます。

担当: 相良、金子(雅)、野口(紀)

<新入会員紹介>

荒井みどり（我孫子市在住）
野倉元雄（同）
弘實和昭（同）
門井章（松戸市在住）
石井俊子（印西市在住）
阿保進・国子（春日部市在住）

<当会事務局のメール・アドレスの設定>

当会では、この度、事務局あてのメール・アドレスを設定し、公開いたしました。
当会の外部から、当会へご連絡いただく場合には、下記の当会事務局メール・アドレス宛メールいただければ、事務局が受信し、必要な対応をいたします。
外部へ当会の連絡先をお伝えする必要がある際は、下記メール・アドレスをご紹介ください。

当会事務局メール・アドレス：abiko-yacho-mamorukai@abikoyacho.sakura.ne.jp

担当：事務局 相良

<鳥名リスト順変更について>

4月定例探鳥会から<認めた鳥>のリスト順は、日本鳥類目録第7版に準拠し変更いたします。

<ご寄付>

山野辺伸作さん、台湾探鳥会(有志)よりご寄付を頂きました。
厚くお礼申し上げます。

<その他>

3月30日に行われた第五回「野鳥サロン」の報告記事は次号掲載になります。

ほーほーどり No.238 (2014年5~6月号)

発行 2014年5月1日

発行人 間野吉幸

編集人 猪爪敏夫、古出洋子、小玉文夫、佐々木隆、野口紀子、松本勝英、宮下三禮

事務局 〒270 1154 我孫子市白山3-8-16-104 間野方

連絡先 〒277 0005 柏市柏1001-5 野口隆也 Tel 04-7163-7898

URL <http://abikoyacho.org/>

郵便振替 00140-2-647587 我孫子野鳥を守る会

会費 年会費2,000円(大学生・高校生1,000円、中学生以下500円、家族会員無料)